

3月28日13:59

x x x 災害対策本部御中

仙台は週末から今日まで晴れの日が続いております。

例年ですと、「仙台もやっと春めいてきて・・・」という感じでメールを書きだすところですが。

さて、3月19日以降、石巻と気仙沼の両地域に日産婦から継続的に人的支援をいただいております。本当にありがとうございます。どちらもメールでは書ききれないほど助かっております。また、各大学からエース級がいらっしやっていますが、その先生方に被災の状況を見ていただくだけでなく、そもそもの東北地方の周産期医療の現状を視察いただけます絶好の機会だろうとも考えております。

4月9日以降も継続的に人的支援をいただけますこと、宮城地方部会として本当にありがたく思っております。全国の産婦人科の先生方・各大学の教授の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともどうぞよろしく願いたします・

東北大学

x x x

3月28日17:11

各位

確認です。

x x 病院やx x 病院に、全国のいろいろな科から多数の先生が応援に駆けつけています。通常からは桁外れの数であるために、とても給料を払える状態ではない、とのことでした。

同様のことは、日産婦の応援に対しても心配をしています。

私からは「日産婦は学会員のボランティア精神で来ていただいているので、彼らが給料を要求することはないはずですよ」と答えましたが、それでよろしかったでしょうか。

こんなときにお金の話をして大変申し訳ありませんが、病院側の事情をお察しいただければと思います。

x x x

3月29日7:39

x x 先生

東北大学のx x x さん。

このたびは石巻のご支援ありがとうございます。

石巻に先生方のみならず、東北大学の教室員一同、また宮城地方部会員一同、先生方の迅速な対

応とボランティア精神に深く感謝申し上げます。

これからも全国から順次、先生方がご支援にいらっしゃいます。

そこで、各先生方のご活躍をうちのホームページに掲載して行くことで、日産婦学会への報告（とりあえずのもの）としていこうと考えております。

もしよろしければ、簡単な報告書や感想でも結構ですので、送っていただくことはできないでしょうか。なお、差し支えなければ先生や宮上先生の写真が数枚つくと、現地レポートとしてさらに良いようにも思います。

お忙しい中、大変恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

東北大学

x x x

3月30日7:44

x x 先生

>関係各位

石巻も気仙沼も、どちらも地域の拠点病院で仕事内容はほぼ同様です。

仙台までは、石巻から1時間半、気仙沼からは3時間です。

分娩中心ですが、良性疾患の手術も結構あります。

癌は東北大学病院や宮城県立がんセンターに送られます。

求められるのは、科長の代りに外来、分娩、帝王切開をできる先生です。

おそらくお一人は各大学の関連病院の科長に出せるくらいの先生で、もう一人はその下で仕事を
する先生、というイメージになると思います。

現在、石巻の分娩は年間1500件ペース、気仙沼は年間500件ペースです。

ただ、これがずっと続くとは思われません。

3ヶ月くらい経つと本来の数（石巻700、気仙沼300）に落ち着いてくるのではないかと考えています。

東北大学

x x x